

玉川大学小学校教員養成特別プログラム

～劔持勉客員教授を迎えて～

「明海大学と玉川大学との間における小学校教員養成特別プログラムに関する協定」に基づき本プログラムを開始して4年目を迎えました。昨年度は、3人の学生が小学校教員免許を取得し、2人が採用されています。今年度は、さらに充実した学修内容とするために、教職課程センターに劔持勉客員教授を迎え、小学校における学級経営、板書の仕方、レポート作成等に関する指導をお願いしています。4月19日から英米語学科の4年生2人、3年生2人を対象にスタートしました。その後、採用試験に向かって7～8回の御指導をいただく予定です。4人の学生たちはとても熱心に授業に参加しており、「教育関係の専門用語の指導では学校現場に合わせて具体的に指導していただけるのでとても理解しやすい」（鶴沢美里さん）などの感想を述べています。

また、5月6日には、効果的な板書の技術についての講習会を教職課程の学生を対象に開催し、2年生から4年生の80人が出席しました。劔持先生からは、黒板に対しての立ち方、体の構え方、文字を美しくバランス良く見せるための留意点、といったことについてご指導いただきました。また、多くの学生が6人ずつ黒板に出て、自分の名前やさまざまな漢字に対するアドバイスをいただく機会をたくさん設けていただきました。教育実習を間近に控えた学生からは、「大学生になってからおざなりになっていた文字の止め、払いへの意識ができた。特に自分の名前は実習先の生徒たちに最初に見せる文字だと思うので大切にしたい」（五十嵐彩音さん）などの感想が寄せられました。

